基準８　施設・設備

（１）観点ごとの分析

観点８－１－①：　学校において編成された教育課程の実現にふさわしい施設・設備（例えば，校地，運動場，体育館，教室，研究室，実験・実習室，演習室，情報処理学習のための施設，語学学習のための施設，図書館等，実験・実習工場さらには職業教育のための練習船等の設備等が考えられる。）が整備され，有効に活用されているか。また，施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。

（観点に係る状況）

資料８－１－①－１に本校校地の概要を示す。また，資料８－１－①－２に校地，建造物など施設の面積一覧を示す。

25室ある準学士課程の講義室は視聴覚機器，AV機器等を利用した講義が可能なようにスクリーンとVTR／DVDが整備され，面積も80㎡／室と学習，学生生活の中心として機能するに十分な面積を有している。他に学年又は学科毎の全員を収容できる大講義室（資料８－１－①－３），選択科目等の少人数の講義，ミーティングに適したゼミナール室等の小規模な講義室も完備している。また，視聴覚機器，AV機器等が整備されている大小２つの視聴覚教室（資料８－１－①－３）もあり，授業等に活用されている（資料８－１－①－４）。教員室は平成14，15年度に行われた校舎改修により教員室を圧縮し創出されたコミュニケーションスペースとガラス越しに接しており，学生と教員間のコミュニケーションを促す構造になっている。

平成14年度からの校舎改修において，各研究室，実験・実習室，演習室等は共有化が図られた。実験・実習室は共通の施設として準学士課程低学年で利用する物理実験室，準学士課程４年で利用する応用物理実験室，実習工場（資料８－１－①－５），創造工房（資料８－１－①－６）があり，各学科にはクラス全体で実験が行えるような大きな実験・実習室がある。それぞれ授業での実験や演習で有効活用されている。その他，各教員は配置される準学士課程５年生が卒業研究に利用する卒研室を管理している。各学科共通の演習室として，数学演習室，語学演習室（資料８－１－①－７）があり，学科独自で持っている製図室や多目的演習室などもある。

学生および教職員の学習，教育・研究支援を目的とした施設として，図書館（資料７－１－②－２，資料８－１－①－８）が整備されている。また，図書館には学生がより静かな環境で自習が行えるように，図書閲覧室内に自学自習コーナー（資料８－１－①－９）が設置されている。情報処理学習のための施設として，プログラム演習室，CAD演習室，基礎情報処理演習室，図書演習室，専攻科情報演習室の５室からなる情報教育演習室（資料７－１－②－３）がある。

さらに，専攻科棟，地域共同テクノセンター（資料８－１－①－１０），電子顕微鏡室，X線室（資料８－１－①－１１）が整備されている。専攻科棟には，メカトロニクス実験室，マテリアル実験室，学生研修室，プレゼンテーションルーム，ゼミナール室が設置されている。

運動施設としては，野球場，総合グラウンド，第２グラウンド，プール，テニスコート，アーチェリー場，ゴルフ練習場等の屋外施設の他，第１体育館，第２体育館，武道場が設けられている。また，クラブ活動などの合宿用施設として，合宿所，合宿研修所が設けられている。

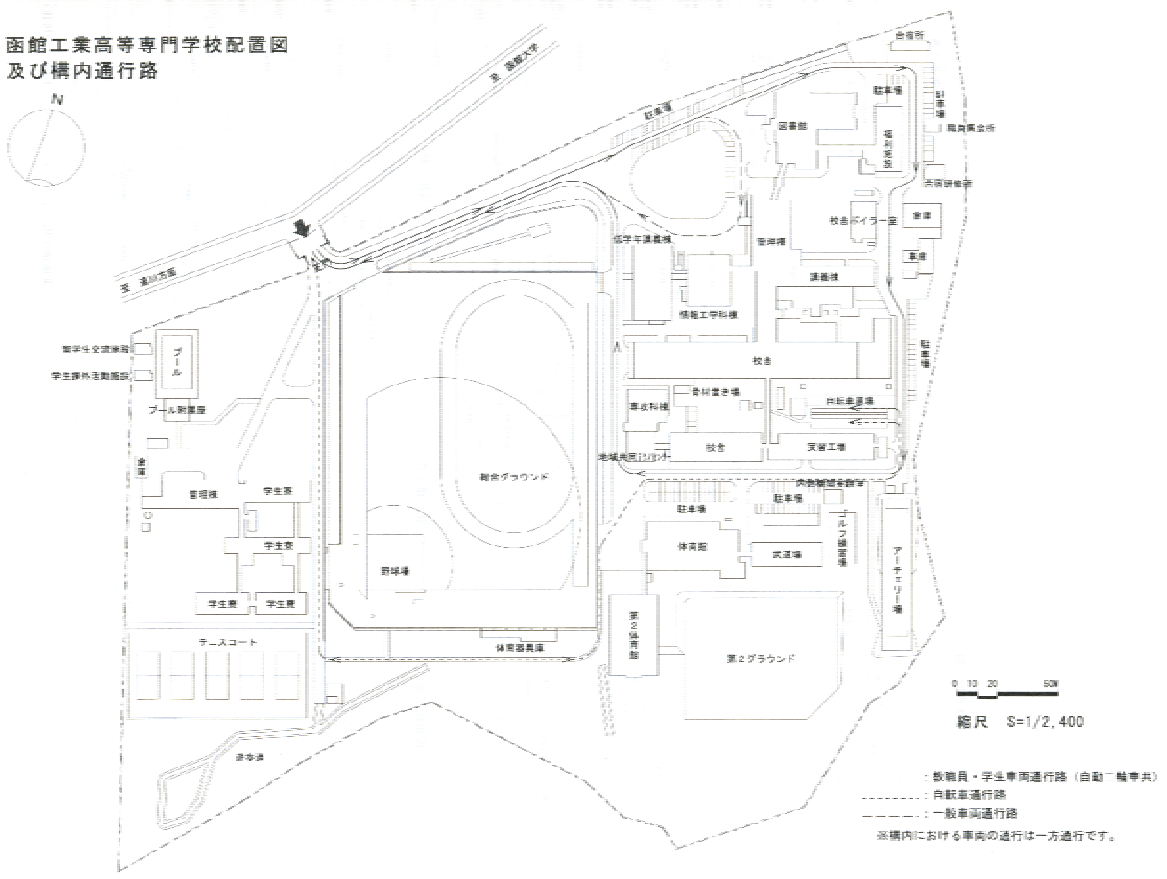
福利施設として，食堂，売店，保健室，学生相談室の他，学生会室，課外活動共用室，音楽室，暗室など課外活動のための施設も整備されている（資料７－１－②－４）。学生相談室では，ゆったりとした環境で相談を受けられるように配慮されている。また，講義棟２階にキャリア教育セン

ターのスペースを設け，昼休みや放課後に学生が求人票を閲覧するテーブルや，求人情報やインターンシップ情報の検索ができるようなPCを設置している（資料７－２－④－４）。

バリアフリー対策として，身障者用トイレ(実験棟，低学年講義棟，専攻科棟，情報工学科棟)や学生玄関，職員玄関，管理棟から図書館への渡り廊下および体育館入り口にスロープが設けられ，物質工学科棟階段には車椅子昇降機が，実験棟および情報工学科棟，専攻科棟にはエレベータが設けられている（資料７－２－②－３，資料８－１－①－１２）。

本校の安全衛生に関しては，安全衛生委員会を設置し，各部屋の担当者に毎月安全衛生チェックシートを提出させる他，月に一回程度の産業医による校内巡回が行われている。実験実習に対する安全に関しては，高専機構で発行した「実験実習安全必携」を使用して全学的に安全指導が行われている。

資料８－１－①－１　校地の概要



（出典　平成 19 年度　学生生活の手引き）

資料８－１－①－２　施設の面積等

施　設　LANDS & BUILDINGS

土　地　Lands

区　分	Classification	面積　Area
校舎敷地	School Campus	59,402 ㎡
運動場敷地	Grounds	42,314
学生寮敷地	Dormitory	9,000
職員宿舎敷地	Personnel Housing	7,486
その他	Others	6,699
合計	Total	124,901

建　物　Buildings

区　分	Classification	建築年 Date of Foundation	構造・階 Structure・Floor	延床面積 Total Floorage
校舎	School Buildings	昭和37（1962）年	R1,R2,R3,R4	17,794 ㎡
実習工場	Techno-Training Center	昭和38（1963）年	S2,B1	774
内燃機関実験室	Internal-Combustion Engine Laboratory	昭和41（1966）年	B1	63
図書館	Library	昭和45（1970）年	R2	1,600
福利施設	Welfare Facilities	昭和59（1984）年	R2	953
ボイラー室	Boiler Room	昭和37（1962）年	R1	227
車庫	Garage	昭和42（1967）年	R1,S1	230
書類庫	Storehouse	昭和42（1967）年	B1	30
薬品庫	Warehouse	昭和47（1972）年	B1	31
職員集会所	Meeting Place	昭和42（1967）年	B1	37
合宿研修施設	Site of Training Camp	昭和40（1965）年	B1	190
設備室	Machine Room	昭和40（1965）年	R1,B1,W1	125
体育館	1st Gymnasium	昭和40（1965）年	S1,B1	1,157
第二体育館	2nd Gymnasium	昭和53（1978）年	S1	987
武道館	Martial Arts Gym	昭和42（1967）年	S1	434
体育器具庫	Warehouse	昭和40（1965）年	B1	168
プール	Swimming Pool	昭和62（1987）年	R1	138
その他	Others			384
小計	Subtotal			25,322
学生寮	Dormitory	昭和38（1963）年	R1,R3	4,818
ボイラー室	Boiler Room	昭和38（1963）年	R1	83
炊婦控室	Cook House	昭和42（1967）年	B1	37
設備室	Machine Room	昭和53（1978）年	S1	30
その他	Others			115
小計	Subtotal			5,083
職員宿舎	Personnel Housing	昭和40（1965）年	B1,R4,R5	3,300
合計	Total			33,705

R：コンクリート造　Reinforced Concrete Building　　B：ブロック造　Concrete Block Building
S：鉄骨造　Steel-Building　　W：木造　Wooden Building

（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.42）

資料８－１－①－３　大講義室・視聴覚室

大講義室　Lecture Hall

大講義室は224の座席数を持つ階段教室で，一つの学科の全学生，あるいは同一学年全学生を収容することができます。最先端の視聴覚設備が装備されており，通常の授業，卒業研究発表会，講演会等に幅広く活用されています。

主な設備　Main Equipments

多機能プロジェクター （パソコン出力，ビデオ出力，教材提示装置出力を完備） Multifunction Projector
大型スクリーン（150 インチ） Large-sized Screen
情報コンセント （各机に装備され，ノートパソコンにより通信が可能です） Information Outlet

▲　大講義室　Lecture Hall

視聴覚教室　Audio-Visual Education Room

大小２箇所の視聴覚教室があります。各室とも，パソコン・ビデオ対応プロジェクターやＯＨＰ装置等を設備しており，効果的な視聴覚教育が展開されています。また，1～４学年の全教室にはビデオ装置，ＯＨＰスクリーンが設備されております。

▲第１視聴覚教室　The first Audio-Visual Education Room

（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.34）

資料８－１－①－４　教室別時間割

平成１９年度　教室等授業時間割　（前期）【3次案】

教室等名	月										火										水										木										金									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
大講義室(大)	5C 地球環境科学 水上		5M 現代社会 ★氣井		5Z 現代社会 ★氣井						5E 現代社会 ★奥平		5C 現代社会 ★奥平		5選 中国語 泊						1Z 原部運論 森澤・佐か		4選 人間と文明Ⅰ ★竹花								3J 国語 ★内藤								1S・K 機械情報処理 樽村		5Z 熱工技術 華竹・川口			3Z 自然と社会 森澤・佐か				
第一視聴覚教室(1視)※1階	5J 情報工学概論 藤田・平		1Z 哲学 森澤		5J 現代社会 ★渡辺英						2M 英語構文 田畑		2E 英語構文 田畑		5選 ドイツ語 広瀬		5Z 電気工学 森澤				5C 和漢代数工学 小林		4選 生命科学概論 入江		2C 国語演習 泊		2J 国語演習 堀隆				5C 環境工学 伊藤		2E 国語演習 堀隆		2Z 国語演習 泊				5C 環境生物学 上野		1Z 応用化学 小玉		2M 国語演習 泊				
第二視聴覚教室(2視)※3階-303											5C 環境化学分析 田中				5選 スポ根論 黄田								4選 環境科学A 長田																				2J 英語構文 田畑		2C 英語構文 田畑		2Z 英語構文 田畑		
ゼミナール室(ゼミ)			4C 物質科学実験 水上・佐か								5C セラミックス 森野																				5E システム工学 三島																			
特別講義室(特)							留学生 日本語 ★山岡		留学生 日本語 ★山岡		4E 電子デバイス 山田一						留学生 日本語 ★山岡																4J 数理論理 岡谷								3C 反応工学 森野									
語学演習室(語)	3M 英語演習 ★天野		3E 英語演習 ★天野		1M 英語コミュ 日田						1J 英語コミュ 日田		3J 英語演習 ★天野		3C 英語演習 ★天野		5J 英語 関岡				3Z 英語演習 ★天野		1E 英語コミュ 日田		5M 英語 関岡		5Z 英語 関岡				2M 英表 日田	2Z 英表 日田	5C 英語 関岡		1C 英語コミュ 日田				1Z 英語コミュ 日田		2E 英表 日田		5E 英語 関岡	2J 英表 日田	2C 英表 日田			
プログラム演習室(プロ)	5E コンピュータ 山田一		4C 物質科学実験 水上・佐か		3Z 情報処理Ⅰ 小玉		2E プログラミングⅠ 白井・森谷				3C 情報処理Ⅰ 長尾		4E 工学応用実験Ⅰ 木村・藤川・松浦・山村								3J ディジタル通信 佐藤英		2M 情報処理 中村向		3J 情報工学実験Ⅱ 国分・鈴				4J 情報ネット 佐藤英		3E プログラミング 白井・森谷		1E プログラミング 山村・森谷				5Z 計画数理 藤原隆		5Z 情報実習Ⅰ 大久保		4J 情報工学実験Ⅱ 国分・佐か				
基礎情報演習室(基礎)	3C 英語表現 関岡		4Z 英語演習 高橋貴		4E 英語演習 高橋貴								3Z 英語表現 関岡		1E 情報基礎 長尾						3M 英語表現 関岡		1J 情報基礎 今野		1Z 情報処理基礎 藤原隆				4M 英語演習 高橋貴				3J 英語表現 関岡		4J 英語演習 高橋貴				1M 情報基礎 佐藤		1C 情報基礎 入江		4C 英語演習 高橋貴		3E 英語表現 関岡		
CAD演習室(CAD)	4M 機械学 浜		2M 設計製図 川上		3M 機械設計・製図 木村						4M 情報処理実験 浜		3M 情演 山田		4M 設計製図 切明						4M 設計製図 切明		5M 自動制御 浜		3Z 機械設計・製図Ⅰ 樽村							3J プロ 佐藤	5M 機械工作法・材料 山田誠		5J 情報工学実験Ⅳ 国分・佐か						5M 基礎解析 木村		4M 機械システム実験 山田誠		1M 機械 切明	1M 機械創造実習Ⅰ 古俣・中村(英)			
創造工房(創)													4E 工学応用実験Ⅰ 木村・藤川・山村												2Z 創造デザイン演習 森澤・小玉・橋本																				1M 機械創造実習Ⅰ 古俣・中村(英)			
実習工場(実)	1S・K 機械運動 中川保か														1M 機械工作実習 山田誠										2M 機械工作実習 中川										3M 機械工作実習 近藤										1M 機械創造実習Ⅰ 古俣・中村(英)			
数学演習室(数演)			2J 微分積分 中島		3C 微分積分 中島		5選 数学特講 竹花				1Z 基礎数学Ⅰ 中島		2J 代数幾何 中島										4選 数学演習A 長田										3C 微分積分 中島				2J 微分積分 中島								3C 代数幾何 中島			
情報処理実験室(情) 情報棟4F	4J オペレーティングシステム 佐藤英		5J 画像情報 豊島・林		2J プログラミング 太刀川		2J プ演 太刀川						4J プログラミング演習 高橋・小・中		4J コンピュータ 国分		2J 情報処理実験Ⅰ 国分・佐か								3J 情報工学実験Ⅱ 国分・鈴						3J プロ 佐藤	3J プ演 佐藤	4J 論理設計 国分				6J 制御実験Ⅰ 5J 情報工学実験Ⅳ 国分・佐か						1J プログラミング 太刀川		1J プ演 太刀川		4J 情報工学実験Ⅱ 国分・佐か			

（出典　教務係資料）

資料８－１－①－５　実習工場の設備

代表的な設備 Some Major Equipments

機械加工室	NC 旋盤	NC Lathe	1
	普通旋盤	Lathe	12
	NC フライス盤	NC Milling Machine	1
	3 軸制御マシニングセンタ	Machining Center	1
	5 軸制御マシニングセンタ	5-Axis Machining Center	1
	フライス盤	Milling Machine	2
	ラジアルボール盤	Radial Drilling Machine	1
	ワイヤ放電加工機	Wire Electric Discharge Machine	1
	平面研削盤	Surface Grinding Machine	1
	形削り盤	Shaping Machine	1
	歯切盤	Gear Shaping Machine	2
板金 / 溶接 / 鍛造室	切断機	Plate squaring shear	2
	バイブロシャー	Vibroshear	2
	帯鋸盤	Band Sawing Machine	1
	油圧プレス	Hydraulic Press	1
	アーク溶接機	Arc Welding Machine	3
	スポット溶接機	Spot Welding Machine	2
	ガス溶接機	C_2H_2-O_2 Gas Welding Tool	2
	エアハンマー	Pneumatic Hammer	1
	電気炉	Electric Furnace	1
鋳造室	高周波誘導加熱装置	High Frequency Induction Furnace	1
	ミキサ	Sand Mixer	2
	ブレンダ	Sand Blender	1
	ショットタンブラー	Tumbler	1
CAD/CAM/NC プログラミング室	旋盤加工シミュレータ	Lathe Machining Simulator	2
	プログラム作成機	NC-Programming System	1
	CAD/CAM 用 PC	PC for CAD/CAM	20

（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.32）

資料８－１－①－６　創造工房

創造工房 Creative Studio

創造工房は，主として「ものづくり教育」を実施するために設置された共同利用施設の一つです。工房には３つの室があり，ものづくりにおける学生の自主性や創造性を養うことを目的として各学科の創成科目に必要な機械，器具，工具等を備え，床下には作業台への電源・ＬＡＮ・ガスの配線・配管が施されています。また，教育の他にも，ロボコンをはじめとする課外活動での作品製作，教職員の研究活動や研修，学外者に対する公開講座など，広く利用されています。

主な設備 Main Equipment

施設 Facilities	設備 Equipment
演習室 Exercise Room	液晶プロジェクタ，純水製造装置，ツールセット，テスター，バイス，ロボラボパック他
加工機室 Processing Machine Room	卓上ボール盤，小型バンドソー，卓上旋盤（小型フライス盤複合），卓上糸ノコ盤，ベルトサンダ他
教員用ＰＣ室 PC-Room for Teachers	教材，パソコン プリント基板加工機他

▲ 創造工房 Creative Workshop

▲ 加工機室 Processing Machine Room

（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.34）

資料８－１－①－７　語学演習室

語学演習室　Language Laboratory

この教室では，L.L. の機器を駆使して英語を学習します。学生のブースは52台あり，教員が提示する教材を各自がモニターで確認できます。教材提示は，実物投影機，パソコン，8mm, ビデオ(VHS/Beta), DVD でできます。学生は各々のペースで教材を聞き返し，自分の声を吹き込んで，モデル音声と聴き比べができます。また，アトランダムに学生のブースをラインで結び，ヘッドフォンとマイクを使って対話練習もできます。

▲ 語学演習室　Language　Laboratory

（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.33）

資料８－１－①－８　図書館利用状況（総数）

平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
44,661	40,488	46,957	52,667	63,144	62,162

（出典　総務課資料）

資料８－１－①－９　図書閲覧室　自学自習コーナー

資料８－１－①－１０　地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター　Local Area Joint Techno-center

地域共同テクノセンターは，本校の産学官連携活動の中心として，地域と学内に広く開かれた共同利用研究教育施設であり，地域企業のニーズに応えて共同研究や技術開発支援を行うという外向きに開かれた役割と，学内教職員の学科の枠を越えたプロジェクト共同研究などを支援する施設という役割，そして主に専攻科学生に対して高度な技術教育を行う場という，大きな三つの役割を担っています。

センター内には，地域産業界との連携のため，共同研究や受託研究，技術開発相談等の窓口となる技術相談室の他，実験・研究用の設備・装置を備えた機器室，研究室などが設置されています。

▲地域共同テクノセンター　Local Area Joint Techno-center

▲　ドラフトチャンバー　Draft Chamber

▲　放電プラズマ焼結装置　Spark plasma Sintering System

▲　原子吸光分光光度計　Atomic Absorption Flame Emission Spectrop Hotometer

▲　技術相談室　Engineering Consultation Room

▲　振動試料型磁力計　Vibrating Sample Magnetometer

（出典　平成 19 年度 学校要覧 p.27）

資料８－１－①－１１　電子顕微鏡室

電子顕微鏡室　Electron Microscope Center

電子顕微鏡室は，工業材料や各種試料の観察および分析に関する教育研究のための学内共同利用施設として設置されています。

室内には，電子プローブマイクロアナライザー装置と分析走査電子顕微鏡が設置されており，無機・有機化学試料，電子材料，機械材料，微生物試料など広い分野にわたる試料の観察と元素分析が可能です。分析走査電子顕微鏡は，低真空型の走査電子顕微鏡であるため，湿潤状態の生物試料などを直接観察・分析することができます。

学内の教員および学生は，専任の技術職員・教員の指導のもと講習を受け，利用することができます。

▲　EPMA　Electron Probe Micro-analyzer

▲　LV-SEM　Low Vacuum Scanning Electron Microscope

主な設備　Main Equipments

ＥＰＭＡ（日本電子製 JXA8900R） 波長分散型Ｘ線分光器（WDS 3ch） エネルギー分散型Ｘ線分光器（EDS 1ch） 0.2 ～ 40kV x40 ～ x300000
分析型低真空走査電子顕微鏡（日本電子製 JSM-6360LA） 0.5 ～ 30k（53 段） x5 ～ x300000 分解能 3.0nm 高分解能ＥＤＳ分光器（日本電子製 JED-2300） 133eV 以下　　検出元素：Be ～ U

（出典　平成 19 年度 学校要覧 p.33）

資料８－１－①－１２

車いすの３人 道立高・高専に進学

広がる生徒の選択肢

進む受け入れ態勢整備

実技評価など戸惑いも

函館市内の道立高校や高専に今春、車いすの生徒三人が進学した。受け入れた函館稜北高と函館中部高、函館工業高専は、車いすの使用者に合わせて水飲み場やトイレの改修を行うなど、環境を整備。生徒には進路の選択肢が広がった。一方で、現場の教員からは体育などの実技の評定方法や見学旅行の移動などで、戸惑いの声も聞かれる。

（杉山育子）

ともに女子生徒が入学した函中部高と函稜北高には、これまでけがなどで一時的に車いすを使った生徒が在籍したことはあるが、恒常的に車いすを使うケースは初めて。

函稜北高は三月、車いすに乗った状態では手の届かなかった水道の蛇口に長いパイプをつなぎ、以前設けた車いすトイレに手すりを付けるなど改修。同校は四階建てで、現在各階に車いすを一台ずつ置いて生徒は手すりを伝って上り下りしているが、六月をめどに階段昇降機を設置する予定。

また、函中部高も同様に水道の改修工事を行い、近く昇降機を設置する。男子学生が入学した函高専はバリアフリー化されており、既に車いす用トイレ四カ所と車いす対応のエレベーター二基があるが、さらにこの学生が主に使う棟にエレベーター一基を追加する方針。

道南には養護学校の高等部はなく、進学する場合は岩見沢か札幌となる。道教委は障害のある生徒の受験について、受験校の校長判断によるとし、高専の場合も学校の判断になるが、障害のある人とその家族でつくる団体「函館すぷれっと」によると、「中学卒業後、三人もの生徒が同時に普通校に進学するケースは、函館では初めてではないか」という。ある教育関係者は「今回は本人と保護者の希望、受け入れる学校側の意向が一致したケース。社会の意識変化も一因ではないか」とみる。

今回入学した三人は、いずれも公立の小中学校出身。時には学校に家族が付き添い、手助けしてきた。函高専に入学した渡辺恵太さん（一五）は、母みまきさん（四七）や教員が教室移動のたびに背負ったり、みまきさんが遠足に同行したりすることもあったという。恵太さんは「保育園も小中学校も普通校だったので、高校も自然に、興味のあった学校を選んだ」と話す。

一方で受け入れる学校には、戸惑いもある。函稜北高は「実技をどう評定するのかや、段差のあるグラウンドへの移動など、検討事項は多い」といい、函中部高は「見学旅行の際にどんな手だてが必要かなど本人と話し合いたい」とする。

道教委は「受け入れを決めた時点で、（対処する）用意があるものとみている」（高校教育課）としており、昇降機など最低限の整備を除けば、教員の増員などの措置は特にない。教員の中には「人の配置もなく、すべて本人と保護者、現場の教員の努力に任されるのはいかがなものか」（四十代男性教員）との声もある。

「すぷれっと」の佐藤尚子代表は「本人の選択が広がるのは良いこと。学校側への助言など、できることは力になりたい」と話している。

函高専の実習室。土足で入れないため、移動用とは別の車いすを常備してある

（出典　平成 18 年 5 月 30 日（火）北海道新聞）

（分析結果とその根拠理由）

本校の教育課程を実現するに必要な校地，運動場，体育館，教室，研究室，実験・実習室，演習室，情報関連設備，図書室，自習・休憩施設および食堂などの福利施設が整備され，有効に利用されている。

観点８－１－②：　教育内容，方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され，有効に活用されているか。

（観点に係る状況）

学術情報教育センターは各演習室およびネットワークを管理している。資料８－１－②－１に情報教育演習室のコンピュータ構成および校内LANの構成を示す。サーバ室には，教育用Windows2000サーバ６台，教育用Linuxサーバ４台，ネットワーク用サーバ６台が備えられている。これらの施設を含め校内のすべての部屋および共用スペースに設置された情報コンセントや，無線LANを通じて校内のほぼすべての場所から，パソコンをインターネットに接続された高速な校内ギガビットネットワークに接続することが可能である。ネットワーク管理室（資料８－１－②－２）には技術職員１名が常駐し，管理者の一元管理のもと，電子メールの利用，ホームページの閲覧，図書の検索，自宅からの課題の送受信などを可能にしている。これらのインターネットへの接続速度は，学生からの要望も考慮して平成17年度に高速化が図られた。また，情報セキュリティ委員会主導のもと，情報セキュリティポリシー（資料８－１－②－３）が平成18年２月に制定され運用されている。それに伴い，情報セキュリティポリシーに係わる実施手順説明会を開催し，実施手順の内容を全教職員に周知した（資料８－１－②－４）。また，平成19年３月のネットワーク機器更新により，従来に比べて強固なセキュリティが実現されている。

学生意見箱に寄せられた情報ネットワークに関する要望に対して，実現可能なものは随時応えている実績もあり（資料８－１－②－５），学生の直接の声にも配慮している。

資料８－１－②－１　学術情報教育センターおよび校内 LAN の構成

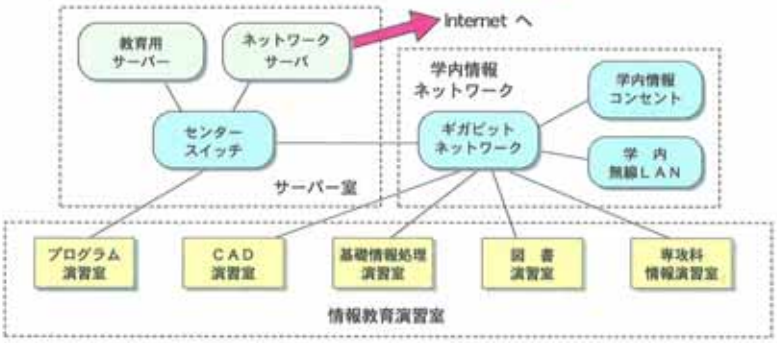
コンピューター構成　Computer Systems

サーバー室	教育用 Windows2001サーバー	6台
	教育用 Linux サーバー	4台
	ネットワーク用サーバー	6台
プログラム演習室	IBM PC Windows XP/Linux	53台
CAD演習室	IBM PC Windows XP/Linux	53台
基礎情報処理演習室	IBM PC Windows NT	53台
図書演習室	IBM PC Windows XP/Linux	15台
専攻科情報演習室	IBM PC Windows XP/Linux	34台

ソフトウェア構成　Software Systems

OS	OS:Windows 2000&XP, Red Hat Linux
Application	Microsoft OfficeXP Professional (Excel, MS-Word, PowerPoint) Microsoft Visual Studio.NET Auto CAD LT, Solid Edge C, C++, Fortran, Java

ネットワーク構成　Network Systems



（出典　平成 19 年度　学校要覧 p.30）

資料８－１－②－２　ネットワーク管理室

○函館工業高等専門学校ネットワーク管理室規程

平成15年3月13日
函高専達第23号

函館工業高等専門学校ネットワーク管理室規程

（趣旨）
第1条　この規程は，函館工業高等専門学校学術情報教育センター規程第5条第3項の規定に基づき，学術情報教育センターの実施組織における管理運営に関し，必要な事項を定めるものとする。
（目的）
第2条　ネットワーク管理室(以下「管理室」という。)は，本校における学内ネットワークの適正かつ円滑な管理運用を図ることを目的とする。
（業務）
第3条　管理室は，次の各号に掲げる業務を行う。
一　学内ネットワークにおけるサーバーの管理運用に関する事項。
二　その他学内ネットワークの利用に関する事項。
（審議機関）
第4条　管理室の管理運営等に関する事項は，学術情報推進委員会(以下「委員会」という。)において審議する。
2　委員会に関し必要な事項は，校長が別に定める。
（組織）
第5条　管理室の委員は，本校教職員のうちから校長が指名する。
2　管理室は，次の各号に掲げる教職員をもつて組織する。
一　室長
二　室員
（室長等）
第6条　室長は，管理室の業務を総括する。
2　室長は，前条第1項の委員のうちから校長が指名する。
3　室長に事故あるときは，あらかじめ室長の指名する委員がその職務を代行する。
4　前条第1項の委員の任期は1年とし，再任を妨げない。ただし，欠員となつた場合の後任の者の任期は，前任者の残余の期間とする。

（出典　規程集　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/reiki_int/reiki_honbun/au05701581.html）

資料８－１－②－３

函館工業高等専門学校情報セキュリティポリシー

平成１８年２月１７日
情報セキュリティ委員会　制定

函館工業高等専門学校（以下「本校」という。）における教育・研究活動及び学校運営等を行うためには，情報基盤の充実に加え，情報資産のセキュリティを確保することにより，高度情報化社会の一員であることが求められる。そこで，本校は情報セキュリティ対策の包括的な対応を，情報セキュリティポリシー（以下「ポリシー」という。）として定める。

Ⅰ　情報セキュリティの基本方針

１．情報セキュリティの基本方針

ポリシーによって目指すものは次のとおりである。

（１）　情報セキュリティに対する侵害を阻止すること。
（２）　内外の情報セキュリティを損ねる加害行為を抑止すること。
（３）　情報資産に関して，重要度による分類とそれに見合った管理をすること。
（４）　情報セキュリティに関する情報の取得を支援すること。

（出典　情報セキュリティ委員会資料）

資料８－１－②－４

情報セキュリティポリシーに係る実施手順説明会開催

本校で３月１２日、全教職員を対象とした情報セキュリティポリシーに係る実施手順説明会を開催しました。

説明会は、函館高専情報セキュリティポリシーに基づき制定された、教職員・学生に対する実施手順が平成１９年４月１日から実施されることをうけて、実施手順の内容を全教職員に周知徹底することにより、学校全体の情報セキュリティに対する意識の向上を図ることを目的として開催され、説明者から一人一人が守らなければならない項目ごとに、事例を交えながら分かりやすく説明されました。

また、説明後には情報セキュリティの意識向上につながる、活発な質疑応答が交わされました。

今後、学生を対象とした説明会の開催を実施することとしており、情報セキュリティに対する意識の向上を学校全体の取り組みとしています。

説明会の様子

（出典　本校ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-syomu/topics/security/index.htm）

資料８－１－②－５　学生意見箱 Q&A

＜学生意見＞(2005.9.12受付)

Q. 校内設置のパソコンをもっと充実させてほしい。(図書館のパソコンをもっと多く。)

＜学校の検討結果＞(2005.10.5回答)

A. 今年度中に図書館にパソコンを増設します。
なお，現状でも学生自身のパソコンについても，ノート型に限り，届出により無線LANに接続できるサービスを行っています(無線LANカードも貸し出します)ので，ぜひ活用してください。(詳しくはネットワーク管理室まで。)

＜学生意見＞(2005.12.26受付)

Q. 図書館のPCにAUTO CAD LT2002を入れてほしい。

＜学校の検討結果＞(2006.1.18回答)

A. AUTO CAD LT2002は，CAD演習室の50台のクライアントPCでのみ使用するライセンス契約となっていますので，図書館のPCで使用することができません。
そこで、放課後，CAD演習室を使用したい場合には，教科担当教員に申し出て下さい。随時，補習を実施します。
もし，CAD演習室が授業等で使用できない場合には，環境都市工学科「構造解析室」でAUTO CAD LT2002を使用できますので，教科担当者又はCA D演習室担当の渡辺教員に申し出て下さい。この際，課題のファイルをFD又はメモリスティックなどの媒体にいれて，持参して下さい。

＜学生意見＞(2005.9.5受付)

Q. 寮においてもインターネットが利用できるようにしてほしい。(情報工学科5年)

＜学校の検討結果＞(2006.10.5回答)

A. 構内無線LANの使用申請をしてネットワーク管理室に登録済みの寮生が，寮内においてもインターネットが利用できるよう，無線LANルータの増設等を行います。

（出典　本校ウェブサイト（学内専用）http://10.120.10.5/~iw-soumu/ikenbako/）

（分析結果とその根拠理由）

本校では学術情報教育センターが整備され，ネットワーク管理および各情報処理演習室の運営を行う体制が整っている。学生のニーズに応えるため，校内のどの場所からでも校内LANに接続できるように情報コンセントや無線LANを整備し，学習や教育に有効利用されている。また，セキュリティポリシーが制定され，ネットワーク管理室を中心として十分なセキュリティ管理のもとに校内ネットワークが適切に管理されている。

観点８－２－①：　図書，学術雑誌，視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に整備され，有効に活用されているか。

（観点に係る状況）

本校の図書館（資料７－１－②－２）には，図書68,143冊（和書63,541冊，洋書4,602冊），雑誌448種（和雑誌371種，洋雑誌77種）（平成19年５月１日現在）が所蔵され，「日本十進分類法」により主題別に閲覧室に配架されている（資料８－２－①－１）。また，年度ごとにカリキュラムに対応した図書の選定を行い系統的に整備されている。さらに，図書館ウェブサイト（資料８－２－①－２）の「蔵書検索」で研究室，学外からも検索して所蔵の確認をすることができる。電子ジャーナル（資料８－２－①－３）については，J Dream II，GeNii，KANNONなどの文献検索システムやScienceDirect，IEEE Xplore，AIP/APS Journalsが利用できるようになっている。一方，図書館入り口付近の棚には，授業で使用している教科書や技術士１次試験問題集，FE試験問題集，TOEIC参考書，国家公務員試験問題集などが置かれ，閲覧できるようになっている（資料８－２－①－４）。

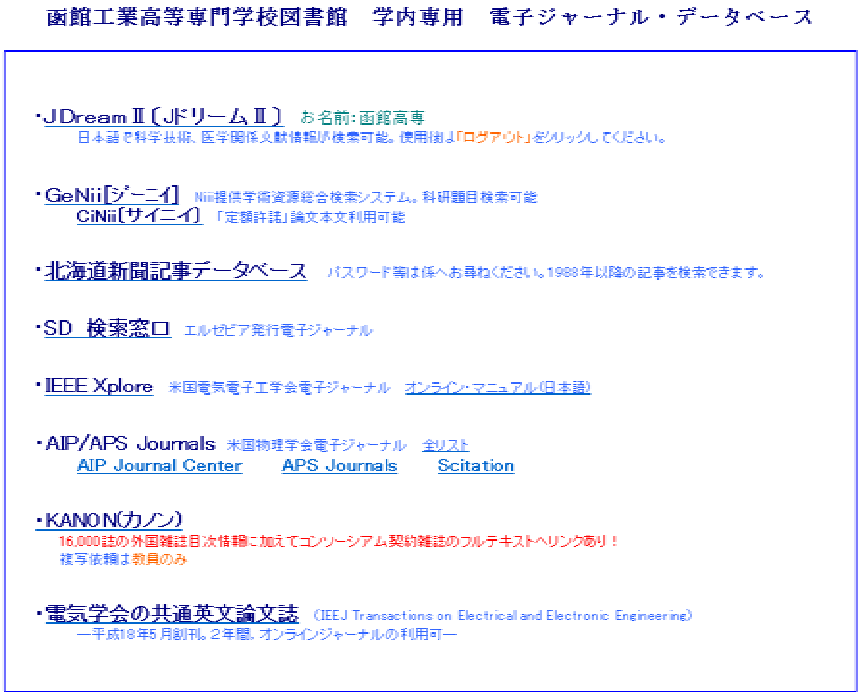
視聴覚資料としては，視聴覚ブースにDVD/ビデオ機器が４台設置され，ビデオソフトは620本備えられている。学生の読書離れの対策として「図書館だより」（資料８－２－①－５）を発行し，教員や学生にお薦め本を紹介することにより図書館の利用促進を図っている。

資料８－２－①－１　図書館分類

資料８－２－①－２　図書館ウェブサイト

（出典　本校図書館ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakujo/tosyo/libra_j.htm）

資料８－２－①－３　図書館ウェブサイト（電子ジャーナル）



（出典　本校図書館ウェブサイト　http://www.hakodate-ct.ac.jp/~w-gakujo/tosyo/gakunai.htm）

資料８－２－①－４　図書館入り口付近棚

資料８－２－①－５　図書館だより 14 号

図書館だより

NO.14
平成18年12月１日発行
函館工業高等専門学校

（文献検索講習会風景）

目　次

1. 偉大な夢を体現した者達のその後の人間ドラマ　長谷川　校長 … 1
2. 図書館に足を運ぼう！　図書館長 … 2
3. 教員からのお薦め本 …… 2
4. ２年生からのお薦め本 …… 5
5. 本校教員執筆図書紹介 …… 7
6. 図書館からのお知らせ
編集後記 …… 8

偉大な夢を体現した者達のその後の人間ドラマ

校　長　長谷川　淳

1969年７月21日の朝（日本時間、米国では７月20日）、私はテレビに映し出された光景に、我を忘れて釘付けになりました。この日付を見て、皆さんは何の光景であったか想像ができますか？　実は、この日は人類が月に最初の一歩を踏み出した記念すべき日で、まさにその光景が映し出されていたのです。この日アポロ11号に搭乗していたニール・アームストロング宇宙飛行士は、このとき「一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな一歩だ」との有名な言葉を口にしました。大変印象的でした。バズ・オルドリン宇宙飛行士も２人目として月に降り立っています。

1961年から米国のケネディ大統領が強力に推進し始めたアポロ計画は、ケネディ大統領が暗殺された後もジョンソン大統領、ニクソン大統領と引き継がれて推進されましたが、このアポロ計画によって最初の月着陸の任務についたのが、このアポロ11号でした。それ以来、1972年のアポロ17号まで、アポロ11号を含めて計６回、月着陸が成功し、計12人の宇宙飛行士が月面を歩いています（この間、1970年にはアポロ13号が爆発事故により月着陸を中止し、奇跡の地球生還を果たしていますが、これは映画にもなりました）。アポロ17号による最後の月着陸の後34年が経過していますが、宇宙開発計画に軌道修正があったことに伴い、月面を歩いた人類はこの12人だけで、しかも生存者は少なくなってしまいました。

今回紹介する本は、月面を歩いた12人の宇宙飛行士の地球帰還後の人生（特に、人生観の劇的変化やヒーローであるが故の苦境等）を活写したノンフィクションである、アンドリュー・スミス著の「Moondust」です。和訳が、「月の記憶」（訳者：鈴木彩織）と題し、上下２巻の文庫本として、ヴィレッジブックス（ソニー・マガジンズ社）で発行されています。偉大な事跡を残した人達の地球帰還後の心の遍歴や苦境、意外な人間ドラマに触れ、何かを感じ取って下さい。

（分析結果とその根拠理由）

図書，学術雑誌，視聴覚資料等は，資料に示すとおり主題別に分類され，系統的に整備されることにより，有効に活用されている。各種電子ジャーナルについても，図書館のウェブサイトから利用できるようになっている。また，図書館の利用促進のため，「図書館だより」を発行している。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

平成12年に策定された「国立学校施設長期計画書」および平成13年に再度見直しされた「教育環境改善計画書～函館工業高等専門学校の未来のために」により，平成14年度，平成15年度と校舎改修を順次行ってきた。平成16年４月には「地域共同テクノセンター」が，平成18年３月には専攻科棟が相次いで完成し，平成18年３月には体育館の改修が行われるなど，施設・設備が計画的に整備され有効に利用されている。

情報処理学習のための施設として，5室からなる情報教育演習室が整備され，それらの使用頻度は高く有効に活用されている。

また，出入り口，渡り廊下における傾斜スロープ，３基のエレベータ，車椅子昇降機，身障者用トイレが４ヵ所整備されていることなど，十分なバリアフリー環境が実現されている。

（改善を要する点）

該当なし

（３）基準８の自己評価の概要

平成14年度，平成15年度には校舎改修が行われ，さらに平成16年４月に「地域共同テクノセンター」が完成し，平成18年３月には専攻科棟が完成した。また，平成18年３月には体育館の改修が行われ，平成19年３月に情報工学科棟にエレベータが設置された。

具体的な施設として，講義室，視聴覚教室，教員室，各研究室，実験室，演習室，実習工場，創造工房，図書館，情報教育演習室，専攻科棟，地域共同テクノセンター，電子顕微鏡室，福利施設等が整備されている。運動施設としては，野球場，グラウンド，プール，テニスコート，アーチェリー場，ゴルフ練習場，体育館，武道場，合宿用施設として合宿所，合宿研修所が設けられており，有効に活用されている。また，バリアフリー対策として，身障者用トイレ，スロープ，車椅子昇降機，エレベータが設置されており，十分なバリアフリー環境が実現されている。

情報ネットワークについては，校内にギガビットネットワークが整備され，学生のニーズにも配慮して各部屋の情報コンセントや無線LANを通じて，すべての講義室，実験室，研究室，共有スペース等からパソコンを用いてインターネットへアクセスできる。また，情報セキュリティポリシーのもと，ネットワーク管理室による利用者の一元管理により，セキュリティの確保が行われている。

図書，学術雑誌については，図書館に図書（和書，洋書），雑誌（和雑誌，洋雑誌）が所蔵され，系統的に整備されている。また，図書館ホームページでは，「蔵書検索」で所蔵の確認をすることができ，各種の電子ジャーナルが利用できるようになっている。その他，教科書や技術士１次試験問題集，FE試験問題集，国家公務委員２種試験問題集，TOEIC参考書等が置かれ，ビデオソフトなどの視聴覚資料も備えられている。これら図書，学術雑誌，視聴覚資料はその利用状況から有効に活用されている。